

※夫婦・親子などが共同で申請(家族経営協定の締結が必須)する場合、全員の氏名・フリガナ・生年月日を連記してください。

※自署でない場合は、必ず押印してください。(共同申請の場合を含む)

農業経営改善計画認定申請書

記入例

令和2年4月1日

※該当する営農類型1つにチェックをしてください。

農産物総販売金額の80%以上を占める作目が、

①ある場合(単一経営)・・・該当する作目に✓

②ない場合(複合経営)・・・複合経営のみに✓

<input type="radio"/>	鴻巣市長 殿
<input type="radio"/>	埼玉県知事 殿
<input type="radio"/>	関東農政局長 殿
<input type="radio"/>	農林水産大臣 殿

申請者	住所	鴻巣市 中央 1-1	連絡先	000-000-0000
	フリガナ	コウノス ハナコ	フリガナ	
	個人・法人名	鴻巣 花子 (印)	代表者氏名(法人のみ)	法人のみ記入
	生年月日・法人設立年月日	昭和39年4月1日	法人番号	

※5年後の目標の人数をご記入ください。※「主たる従事者」とは、農業経営において主体的な役割を担う者です。

【例】法人経営における経営者・役員等、家族経営における世帯主等

農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画

①農業経営体の営農活動の現状及び目標

※現状から5年後を目標としてください。

(1) 営農類型	
現 状	目 標 (令和7年)
<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 () <input type="checkbox"/> 複合経営	<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 () <input type="checkbox"/> 複合経営
<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産 ()	<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産 ()

(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標

	現 状	目 標 (令和7年)		現 状	目 標 (令和7年)	主たる従事者の人数	1人
年間所得	420 万円	560 万円	年間労働時間	2,400 時間	1,800 時間		
主たる従事者1人当たりの年間所得	420 万円	560 万円	主たる従事者1人当たりの年間労働時間	2,400 時間	1,800 時間		

※年間労働時間・・・主たる従事者の労働時間の合計

※主たる従事者一人当たりの年間労働時間

※すべての主たる従事者の年間労働時間の平均値

②農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産				(2) 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業(売上げ)					
作目・部門名(耕種)	現 状		目 標 (令和7年)		作目・部門名(畜産)	現 状		目 標 (年)	
	作付面積(a)	生産量	作付面積(a)	生産量		飼養頭数(頭、羽)	生産量	飼養頭数(頭、羽)	生産量
水稻	1,250	67 t	1,400	75 t					
パンジー			50	2万株					

※畜産については、こちらにご記入ください。

※裏面の(3)ア農用地の経営面積と整合性がとれているか確認してください。

※単位を忘れずにご記入ください。

※所得ではありません。
【事業内容の例】
・農畜産物の加工
・小売業(直売所)
・観光農園、貸農園
・体験農園、農家民宿、農家レストラン
・作業受託(※特定作業受託は含みません。)

【鴻巣市の基本構想水準】

主たる従事者一人あたり

・年間農業所得
・・・560万円
・年間労働時間
・・・1800時間

※主たる従事者一人当たりの所得
=(収入金額-経費)
÷主たる従事者の人数

※作付面積の単位はa(アール)です。

約一畝
=100㎡
=1a

約一反
=1,000㎡
=10a

約1町
=10,000㎡
=100a

(3) 農用地及び農業生産施設					イ 農業生産施設						
区分	所在地		地目	現 状 (a)	目標 (令和7年) (a)	種 別	所在地		規 模		
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状	目標 (令和7年)	
								棟	m ²	棟	m ²
所有地	埼玉県	鴻巣市	田	1,000	1,000	温室	埼玉県	鴻巣市		1	300
借入地	埼玉県	鴻巣市	田	200	350	※農畜産物の生産の用に供する施設 【例】畜舎、蚕室、温室、他					
	埼玉県	鴻巣市	畑		50						
その他	埼玉県	鴻巣市	田	50	50						
経営面積合計				1,250	1,450	経営面積合計				1	300

※現況の地目
(登記地目ではありません。)

※農畜産物の生産の用に供する施設
【例】畜舎、蚕室、温室、他

※単位はm²です。

※特定作業受託について記載してください。

③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置

1. 農用地の利用条件
 現状：小区画で分散 目標：農地の集積・集約 措置：農地中間管理機構の活用
 2. 作目・部門別合理化の方向
 ①水稲 現状：作業時間が長い 目標：生産の効率化 措置：農業用機械の取得
 ②パンジー 現状： - 目標：生産管理の高度化 措置：GAPの導入

④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置

現状：多収品種のみ生産
 目標：高付加価値化・ブランド化
 措置：良質品種への切り替え、消費者受けの良い品種の栽培、減農薬減化学栽培の実施

※③～⑤(⑥)については、
現状・目標・措置の3つの観点でご記入ください。

⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置

現状：就業規則が定まっておらず休日が不定期、人手不足
 目標：就業環境の整備、人材確保
 措置：就業規則の制定及び休日制の導入

⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置

予定年度：令和3年度
 予定資金：農業制度資金
 予定貸付額：200万円

※③～⑤以外の取組等を記入してください。
 ※農業改良資金等の制度資金の融資を受けることを予定する場合には、予定年度・予定資金・予定貸付額等をご記入ください。

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員									(2) 雇 用 者						
氏 名 (法人経営にあっては役員の 氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状			見 通 し (令和7年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	2 人	見 通 し	3 人
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間						
鴻巣 花子	56	女	(代表者)	全般	○	2400	全般	○	1800	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	1 人	見 通 し	3 人
鴻巣 太郎	54	男	夫	全般		2000	水稲		1800		延べ人数	現 状	2 人	見 通 し	6 人
鴻巣 ひな子	32	女	娘	全般		2000	管理		1800						
鴻巣 次郎	28	男	息子	全般		1200	花き		1800						

※臨時雇(年間)の延べ人数の欄には、雇用契約を結んだ数
をご記入ください。

※以下についても記載してください。
 ・現在は農業経営に携わってるが5年以内に離農する見込みの者
 ・現在は就農していないが5年以内には経営に参画する見込みの者

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
作業場兼倉庫 (300㎡)	1棟
自動カーテン装置	1式
温風暖房機	1台
田植え機 (8条植)	1台
コンバイン (50ps)	1台
軽トラック	2台
トラクター (65ps)	1台
乾燥機 (43石)	1台

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3)農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)

※申請書本体裏面上部をご確認ください。